



本町の教育指標：「進取の気象」「国際性」「社会貢献」

嘉手納町 教育委員会だより

令和7年 10月発行 嘉手納町教育委員



マップを手に、嘉手納町の歴史散策を楽しみませんか？

嘉手納町教育委員会では、この度、「かでな歴史マップ（東・西）」を発行いたしました。これは、町内に点在する歴史的名所や文化財が一目でわかる一覧マップです。嘉手納町の豊かな歴史と文化に触れていただくため、東地区・西地区の歴史・文化財を分かりやすく掲載しています。

●マップを活用して、まちを歩こう！

- ・ご家族で、週末の歴史探検や、お子様の郷土学習にご活用ください。
- ・地域の方々と地元の歴史を学び直し、新たな魅力を発見するきっかけにしてください。

◆マップは、かでな未来館と嘉手納町立図書館にて配布中です。 **かでな歴史マップ・西（散策コース）** ぜひお手にとって、まちの歴史を身近に感じてください。



ブレイキン全国大会で快挙！ 池上ころろさんが町長を表敬訪問！

10月2日、嘉手納小学校の池上ころろさん（ダンサー名・Cocorotto）が、ブレイキン全国大会での活躍を報告するため、役場に表敬訪問されました。池上さんは、小学生の日本一を決める「ブレイキンのイオンチャンピオンシップ2025 決勝大会」（8月31日、石川県・イオンモール白山で開催）に出場。激戦の「女子小学校高学年の部」において、見事ベスト8という輝かしい成績を収めました。この結果により、山口県で行われる「ブレイキンバトル yab cup」への出場権も獲得。今後のさらなる活躍が期待されます。



放課後子ども教室、琉球古典音楽の受賞報告で町長を訪問しました！

10月14日（月）、嘉手納小学校の放課後子ども教室で琉球古典音楽（琴、三線）を学んでいる児童の皆さんと、教室の卒業生である中学生、高校生が、この度の輝かしい受賞報告のため町長を表敬訪問しました。児童生徒の皆さんは、郷土芸能への愛着と理解を深めることを目的に創設された「琉球箏曲保存会普及賞」や「琉楽普及賞」を受賞され、その素晴らしい成果を町長に報告しました。町長からは、受賞の栄誉をたたえとともに、



さらなる活躍を願って報奨金（図書カード）の贈呈と温かい激励の言葉が贈られました。伝統文化を熱心に学び、成果を収めた子どもたちの努力は、地域の誇りです。今後の更なる活躍を期待します。

嘉手納町の偉人・野國總管の物語を子どもたちが熱演！

甘諸伝来 420 年の記念の年に、嘉手納町の偉人、野國總管の功績を伝えるプロジェクト「總管一座」が地域の有志によって立ち上がりました。10 月 5 日の「野國總管まつり」では、その第 1 弾として朗読劇「声で語る野國總管ものがたり」が披露され、大きな反響を呼びました。屋良小・嘉手納中の児童生徒 8 名が、元 NHK アナウンサーの指導を受け、情感豊かに朗読を担当。朗読に合わせ、生成 AI 制作の映像と音楽を大型スクリーンで演出し、總管の活躍を分かりやすく伝えました。物語は、1605 年に中国から甘諸（いも）を持ち帰り、飢饉（ききん）から多くの命を救った總管の偉大な足跡をダイナミックに展開。農民から異例の出世を果たした總管の努力や、「野国いも」が全国に広まった歴史を学ぶ、貴重な機会となりました。地域の熱い思いが詰まったこの舞台で、子どもたちが町の誇りを語り継ぐ姿は、会場に大きな感動を与えました。



県内初長編『まんが野國總管ものがたり』の発刊！

「甘諸伝来」420 年記念事業として、県内初となる長編まんが「野國總管物語」を令和 7 年 11 月に発刊する予定です。この「まんが野國總管ものがたり」は、小学校 4 年生の副読本として配布し、子どもたちが「食・いのち・平和」という大切なテーマについて、親しみやすいまんがを通して深く学ぶための教材となります。このまんがを座右の書として野國總管の遺訓を学んでほしいと思います。



『まんが野國總管ものがたり』を贈呈する伊波勝雄氏（ストーリー原案／監修）

屋良小学校で「カンダバーカレー」お招き給食会

10月16日、屋良小学校でカンダバーカレーお招き給食会が開催されました。同校では、「いも探究プロジェクト」の一環として、校内の畑で「野国いも」を育てています。今回提供されたのは、その野国イモの若い葉や茎、つまり方言で「カンダバー」と呼ばれる伝統的な島野菜を使ったカレーです。カンダバーは、古くから沖縄の食生活に根付いた、栄養満点の食材です。給食会には、町長、副町長、教育長、教育委員会事務局の職員など多数の来賓が招待され、子どもたちが丹精込めて育てたカンダバーカレーを囲み、楽しいひと時を過ごしました。招待された皆さんは、そのおいしさに「こんなに食べやすいとは思わなかった」と舌鼓を打ち、子どもたちの笑顔とともに完食されていました。



感動のハーモニー！嘉手納中学校 校内合唱コンクール

10月24日、かでな文化センターにおいて、嘉手納中学校の校内合唱コンクールが開催されました。当日は多くの保護者にもご来場いただきました。開会式で玉城校長は、テーマ「仲間とひびかせる青春のハーモニー」について、「仲間と心をつにし、互いを理解し協力し合うことで、感動的な歌声が生まれる」とその意義を強調。また、「これまで積み重ねた練習の成果を存分に披露する場」だと生徒たちを激励しました。コンクールでは、各学年が日頃の練習の成果を発揮し、ステージいっぱいに素晴らしいパフォーマンスを披露しました。生徒たちが一体となった響き合う歌声は、楽曲に込められたメッセージ（愛、命のつながり、希望と平和、成長など）を聴衆の心に強く届け、私たち一人ひとりに大きな感動を与えてくれました。



【お知らせ】嘉手納町発！教育DXの先進事例を全国へ発信

嘉手納町では、屋良小・嘉手納小・嘉手納中の3校が文部科学省の「リーディングDXスクール／生成AIパイロット校」の研究指定を受けています。この研究指定校の役割は、生成AIを活用した先進的な実践事例を創出し、その研究成果を町内だけでなく、全国に普及・展開するという重要な役割を担っています。この研究の成果を披露するために、嘉手納中学校を会場に嘉手納町教職員研修会（公開授業等）を開催いたします。本研修会には、県内外から多数の教育関係者が参観に訪れる予定です。

●日時：令和7年11月19日（水）13:15～16:45 ●会場：嘉手納中学校

屋良幼・小合同運動会「あきらめず 仲間と共に 心を燃やせ！」

10月26日、秋晴れのもと、屋良幼稚園・屋良小学校の合同大運動会が開催されました。運動会スローガン「あきらめず 仲間と共に 心を燃やせ！」を掲げた子どもたちは、紅組と白組に分かれ、熱い一日を繰り広げました。開会式での応援合戦では、団長の呼びかけに大きな声で応え、会場は早くも一体感に包まれました。トラックでは、徒競走で一人ひとりがゴールを目指して懸命に走り抜け、勝敗がめまぐるしく変わる学級対抗リレーでは、チーム全員がバトンに想いを託しました。また、玉入れ競争では、チームワークを発揮して一丸となってカゴを狙う姿が見られました。演技種目では、児童たちが躍動感あふれるエイサーを披露し、会場を大いに盛り上げました。どの競技でも、日々の練習の成果を発揮しようと、園児・児童たちが懸命に取り組みました。勝敗は、競技の点数に加え、昨年度から導入されている保護者の皆様によるQRコード投票も加点され、僅差で紅組が勝利を収めました。また、今回は「かでなっ子ハローワーク」の募集に、嘉手納小学校の比嘉美音莉さん（6年）、嘉手納中学校の玉置愛流さん（2年）、平敷虹菜さん（3年）が参加。近隣の小学生や中学生（屋良小学校卒業）の先輩たちが、アナウンスや競技のお手伝いとして活躍し、感動の一日を支えてくれました。学校の枠を超えた温かい連携が光りました。



令和7年度沖縄県市町村教育委員会研修会より：不登校の新たな捉え方

10月24日、那覇文化芸術劇場なは一とで、令和7年度沖縄県市町村教育委員会研修会が開催されました。東京成徳大学の石隈利紀先生を講師に、「『生徒指導提要の改訂』と子どもへの発達支援」についてご講話をいただきました。特に不登校についての石隈先生のお考え方を以下のように学びました。

【不登校の捉え方】

- ・「SOS」という心のメッセージであり、無理に頑張りすぎた「充電切れ」の状態である。
- ・自分を守るための大切な行動と認識する。

【支援の基本姿勢】・・・解決すべきは「登校」ではなく「背景にある問題」です。

- ・いじめ、不安、ストレスなど、子どもが困っている根っこの問題に寄り添い、サポートする。
- ・休養期間を「大切な成長と充電の時間」と捉え、焦らず安心できる居場所でエネルギーを養うことを支援する。

【結論】

- ・「子どもを責めず、何に困っているのかに寄り添い、サポートすること」が、今後の不登校支援において最も重要です。

「チーム学校」から「チーム子育て」へ